

目標6 配偶者などからの暴力の根絶《重点目標》

**《目指すまちの姿》**  
市民がいかなる暴力も許さないという意識を持ち、DVやセクシュアル・ハラスメントなど、あらゆる暴力のない社会が形成されています。

施策番号 【1】 あらゆる暴力を許さない意識の醸成に向けた啓発の実施

施策の内容 DVやセクシュアル・ハラスメントなど、あらゆる暴力を許さないという意識を社会全体で共有するために、様々な機会を通じて年齢層にあわせた広報・啓発活動を行います。

90		数値目標	《指標》デートDVも含むDV防止に関する啓発活動の実施回数 ※( )は当該年度の目標値						
担当課	人権課男女共同参画室		H28	H29	H30	R元	R2	R3	目標値
			年6回	(年8回) 年13回	(年8回) 年21回	(年9回) 年21回	(年9回) 年22回	(年10回)	年10回
R2事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>DV防止の研修参加者にパープルリボンキャンペーン啓発素材を一緒に作成してもらおう。研修対象という受け身でなく啓発主体にもなりうる取り組みをしていく。</li> <li>デートDV防止啓発パネルを市内高校などにおいて巡回展示。パネル素材を印刷した小冊子も配布（3年継続事業）。</li> </ul>								
R2事業計画に関する具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>巡回パネル展10回。街頭キャンペーン3か所。男女共同参画セミナー（DV）2コミュニティ。参加者と一緒に大きなパープルリボンを作成（市役所展示に活用）</li> </ul>								
R2事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>巡回パネル展を市内高校等延べ11か所にて実施。街頭キャンペーン3か所、男女共同参画セミナー（DV）の実施はできなかった。デートDV小冊子は高校1年生を中心に1,160冊配布</li> </ul>								
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	巡回デートDVパネル展を開始して3年が経過したが、R2年度の閲覧者アンケートを見ても60.3%の学生がパネル展でデートDVの存在を知ったと回答（H30年では70.9%）しているとおり、継続的な予防啓発活動が役立っていると考ええる。一般向けとしては、街頭キャンペーンなどによりパープルリボン運動の認識が広まっている								
事業の実施状況を踏まえた課題	パネル展、小冊子配布は学校の協力により実現しているが、学生個々がもう少し自分事として考えるためには、新たな仕組みが必要（クラブ活動の活用など）。一般向けの取り組みについては、対象年齢の幅が広く、アプローチの仕方を細かくしなくてはいけないという課題がある								

91		数値目標						
担当課	子育て支援課		現状値	H29	H30	R元	R2	R3
R2事業計画	・DVやセクシュアル・ハラスメントなどの認識を高めるために「女性に対する暴力をなくす運動」期間にキャンペーングッズ等を配布し啓発活動を行う。							
R2事業計画に関する具体的な目標	・「女性に対する暴力をなくす運動」期間やその他の機会を捉えてキャンペーングッズ等を配布し啓発活動を行う。 ・DVネットワーク会議では職員への意識啓発を行い、窓口対応における連携体制の確認及び見直しを行う。							
R2事業実績	コロナの影響で計画していたキャンペーン活動は中止となったが、家庭児童相談室のパンフレットを作成し、DV、女性相談の周知・啓発を行った。							
目指すまちな姿に対して、事業実施により得られた効果	相談者のみならず、関係機関にも家庭児童相談室パンフレットを配布し、広く情報提供することができた。							
事業の実施状況を踏まえた課題	DVネットワーク会議を開催し、関係機関と具体的な対応について踏み込んだ協議ができるようにすることが課題である。							

92		数値目標						
担当課	幼保運営課		現状値	H29	H30	R元	R2	R3
R2事業計画	・保育参観や園行事、保護者会・PTA活動等の様々な機会を通して、あらゆる暴力を許さないという意識がもてるよう啓発を行う。							
R2事業計画に関する具体的な目標	・掲示、配布物等での啓発活動を積極的に行う。 ・日々の保育の中で、子どもたちの年齢に応じた具体的な場面を通し、あらゆる暴力を許さないという意識をもてるようにしていく。 ・人権における啓発活動として、友達や周りの人と仲良くすること、自分も他人も傷つけてはいけないことを、様々な表現活動を通して意識を高めたり、保護者にも参加を呼びかけたりする。（年間5回以上）							
R2事業実績	・掲示・配布物等において啓発を行った。 ・日々の保育の中で、思いやりや自他ともに大切にすることを繰り返し伝えていった。 ・男女共同参画モデル園にて、園内での職員の行為に虐待が潜んでいないかという視点で現状把握やニーズを探った。また、各園でも虐待についてのセルフチェックや園内研修を行った。							
目指すまちな姿に対して、事業実施により得られた効果	・虐待等の正しい認識や事例等を通して理解が深められた。 ・自他ともに大切にすることを育てていくための共通理解が図られるとともに、子ども自身が自他を大切にしようとする気持ちが育ってきている。 ・多様な家庭環境の中で育つ子ども達、また発達障害の子ども達の増加により、かわりが非常に難しい現状がある。職員が対応に困った時、心が疲れた時は、他の職員に助けを求めたり、担当が代わって気分転換をするなど、園内での協力体制を作っている。また、事例をあげて園内研修をおこなうように努め、落ち着いて子ども達にかかわることができている。							
事業の実施状況を踏まえた課題	・認識したことが実践として生かされるように、研修の工夫をしながら積み重ねていく。 ・多様な家庭環境の中で育つ子ども達、また発達障害の子ども達の増加により、かわりが非常に難しい現状がある。職員が対応に困った時、心が疲れた時は、他の職員に助けを求めたり、担当が代わって気分転換をするなど、園内での協力体制を作っている。また、事例をあげて園内研修をおこなうように努め、落ち着いて子ども達にかかわることができている。							

93		数 値 目 標						
担当課	環境安全課(危機管理課)		現状値	H29	H30	R元	R2	R3
R2 事業計画	・安全で安心して暮らせるまちづくりを目指して、関係機関と連携し、暴力の現状などについて情報共有を行う。							
R2事業計画に関する具体的な目標	安全安心まちづくり協議会を年1回開催。警察、防犯協会、教育委員会、学校、地域などとの情報共有を行う。							
R2 事業実績	7月に「丸亀市安全安心まちづくり推進協議会」を開催した。防犯対策をはじめ、交通安全対策や地域防災などについて協議を行った。また、丸亀警察署生活安全課より、丸亀署管内の犯罪状況として、「DV」の認知件数についての現状報告があり、情報共有を図った。							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	「丸亀市安全安心まちづくり推進協議会」の開催により、地域や学校など様々な団体に対して、本市の取り組みを報告し、さらに丸亀警察署生活安全課からの犯罪状況報告もあり、情報共有を図ることができた。							
事業の実施状況を踏まえた課題	暴力行為を未然に防ぐことは大切ではあるので、今後も各部署と連携をとりながら、情報共有を図っていきたい。							

94		数 値 目 標						
担当課	学校教育課		現状値	H29	H30	R元	R2	R3
R2 事業計画	・DVやセクシュアルハラスメントなどを含めたあらゆる暴力を防ぐために、発達段階に応じた人権教育の計画が立案されているか確認する。 ・相談体制が取れるような職場環境を整備するよう校長会で周知する。							
R2事業計画に関する具体的な目標	・各校で、相談体制が取れるような職場環境の整備が立案される。 ・学校現場の教職員同士の人権感覚が向上され、互いに助言しあうことができる。							
R2 事業実績	・各校の年間計画の中に人権尊重の視点に立った教育を位置付け、学校の実情や学年格差に応じて計画的に指導した。							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	・各学校の「道徳」や「人権学習」「学校行事」等において、発達段階に応じて、望ましい人間関係についての学習が進められたことにより、あらゆる暴力のない社会が望ましいと感じる感覚の育成に繋がった。							
事業の実施状況を踏まえた課題	・暴力を許さない社会が望ましいと感じられるようになったことにより、実践に結び付けられるような指導を充実していく必要がある。							

施策の内容	暴力に対する抑止力となるよう、地域の意識を高めるような啓発活動を行います。							
	95	数値目標						
担当課	人権課男女共同参画室		現状値	H29	H30	R元	R2	R3
R2事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度に引き続き、コミュニティを対象として開催する男女共同参画セミナーのテーマの一つに“DV防止”を設定。セミナー参加者に啓発主体として活動できるようセミナー構成を工夫する。</li> </ul>							
R2事業計画に関する具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3コミュニティで実施。</li> <li>・セミナー参加者にパープルリボンを作成していただき11月のDV防止パネル展で活用する大きなパープルリボン作成に使用する。</li> <li>・コミュニティ掲示板に男女共同参画クイズをあしらったパネルを展示（7コミュニティ）。11月のクイズは、DV防止を訴える内容とする。</li> </ul>							
R2事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画セミナー（DVテーマ）は未実施だが、他の講座実施時（8/20飯山北コミュ、11/11飯山南コミュ、11/14土器コミュ）にパープルリボンを作成し、大きなパープルリボンに貼付したものを11月のDV防止パネル展で活用</li> <li>・コミュニティ掲示板での男女共同参画クイズは10センターにて実施。DV防止について11月掲示分にて取り扱った</li> </ul>							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	ただ、聞くだけの講座からパープルリボンを作成することを取り入れたことで、記憶に少しは残るセミナー構成になったと考える。啓発効果が若干だが高まった。							
事業の実施状況を踏まえた課題	暴力に対する抑止力となるようなインパクトある講座内容というレベルではない（ただ、そういった内容にしても聴講者は増えないと考える）							

## 目標6 配偶者などからの暴力の根絶《重点目標》

### 《目指すまちの姿》

市民がいかなる暴力も許さないという意識を持ち、DVやセクシュアル・ハラスメントなど、あらゆる暴力のない社会が形成されています。

施策 番号	【1】 あらゆる暴力を許さない意識の醸成に向けた啓発の実施
----------	-------------------------------

### 【担当課長による施策実施評価とその理由】

担当課長	評価	評価の理由
人権課長	B⇒ B	巡回パネル展や街頭キャンペーン活動に加え、各コミュニティでのセミナー等では参加者と共にパープルリボンづくりを行うなど、様々な啓発活動に取り組んでおり、市民意識の向上に繋がっている。
子育て支援課長	B⇒ B	コロナの影響もあり、当初計画していたキャンペーン活動を実施することができなかったが、家庭児童相談室のパンフレットを作成し、DV・女性相談の周知啓発を行った。
幼保運営課長	B⇒ B	日々の保育の中で、思いやりや自他ともに大切にすることを繰り返し伝えていくことで、子ども自身が自他を大切にしようとする気持ちが育ってきている。また、コロナ禍のため保護者を交えての活動は行えなかったが、掲示・配布物等において啓発を行っていた。
環境安全課長(R2危機管理課)	B⇒ B	DVやセクシュアル・ハラスメントなどが起きない安全安心なまちづくりに向けて、警察や地域、学校等と連携・情報共有しながら取り組むことができています。
学校教育課長	B⇒ B	障がいの有無や男女の性別にかかわらず、子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう、特別支援教育支援員を増員して配置したり、巡回相談や教育相談・研修を関係機関と連携して行ったりするなどの支援を行った。また就学に向けた教育相談の充実を推進することで、切れ目ない支援が行える体制が整備されてきている。

### 【審議会による施策実施評価とコメント】

評価	コメント
	今回、施策実施評価は省略しました 総括講評を参照してください

※担当課長、審議会による評価基準

A：目指すまちの姿に対して施策の効果が十分得られた。

B：目指すまちの姿に対して施策の効果が得られた。

C：目指すまちの姿に対して施策の効果がほとんど得られなかったため、事業の見直しが必要である。

目標6 配偶者などからの暴力の根絶《重点目標》

《目指すまちの姿》  
市民がいかなる暴力も許さないという意識を持ち、DVやセクシュアル・ハラスメントなど、あらゆる暴力のない社会が形成されています。

施策番号 【2】 女性相談窓口の周知

施策の内容 イベントや研修会の場などで相談窓口の周知を行うとともに、民間店舗などに相談カードの設置などについて協力を求めます。

96		《指標》相談カード・シールの設置か所数 ①公共施設 ②民間施設 ※( )は当該年度の目標値										
担当課	人権課男女共同参画室	数値目標	H28	H29	H30	R元	R2	R3	目標値			
			①24か所 ②2か所	(①26か所) (②40か所) ①24か所 ②24か所	(①30か所) (②80か所) ①43か所 ②59か所	(①34か所) (②120か所) ①109か所 ②82か所	(①38か所) (②160か所) ①113か所 ②165か所	(①40か所) (②200か所)	①40か所 ②200か所			
			《指標》DV相談の窓口として、次の相談先を知っている人の割合 ①丸亀市女性相談 ②香川県子ども女性相談センター						H27	H29	H30	R元
R2 事業計画		①公共施設や民間施設、その他の協力してくれる企業などに、相談シールの貼付を依頼する。 ②暴力防止のための啓発を行う際に相談窓口の周知を行う。 ③コミュニティセンターの掲示板に男女共同参画クイズのパネルを展示（相談窓口の周知チラシも掲示）										
R2事業計画に関する具体的な目標		①公共施設は目標値をクリアしているが、更なる積み上げを目指す。民間施設は120か所。（最終目標値は変更せず） ②啓発活動を22回実施。※6【1】90記載の数値 ③コミュニティ掲示（7か所）										
R2 事業実績		①公共施設113か所（対前年度+4）、民間施設165か所（対前年度+83） ②啓発活動22回 目標6【1】90再掲 ③コミュニティ掲示（10か所）										
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果		民間施設（スーパー、ドラッグストア等）の協力によりDV相談シールの枚数が大幅に増え、相談窓口周知機会が増大した										
事業の実施状況を踏まえた課題		相談窓口周知機会が増大したが、ここから相談につながるかどうかは未知数（周知方法の検証が必要）										

目標6 配偶者などからの暴力の根絶 《重点目標》

**《目指すまちの姿》**  
 市民がいかなる暴力も許さないという意識を持ち、DVやセクシュアル・ハラスメントなど、あらゆる暴力のない社会が形成されています。

施策 番号	【2】	女性相談窓口の周知
----------	-----	-----------

【担当課長による施策実施評価とその理由】

担当課長	評価	評価の理由
人権課長	B⇒ B	DV防止と被害者の早期救済を目指して、公共施設や民間の集客施設他の理解と協力を得ながら着実に成果を上げている。

【審議会による施策実施評価とコメント】

評価	コメント
	今回、施策実施評価は省略しました 総括講評を参照してください

※担当課長、審議会による評価基準

- A：目指すまちの姿に対して施策の効果が十分得られた。
- B：目指すまちの姿に対して施策の効果が得られた。
- C：目指すまちの姿に対して施策の効果がほとんど得られなかったため、事業の見直しが必要である。

目標6 配偶者などからの暴力の根絶 《重点目標》

**《目指すまちの姿》**  
市民がいかなる暴力も許さないという意識を持ち、DVやセクシュアル・ハラスメントなど、あらゆる暴力のない社会が形成されています。

施策番号	[3] 発見通報に関する関係機関への働きかけの実施
------	---------------------------

施策の内容	被害者を発見する可能性の高い保育士や教職員、救急隊員などに理解を促し、日常業務の中で被害者が早期に発見されやすい環境づくりに努めます。							
97		数値目標						
担当課	人権課男女共同参画室		現状値	H29	H30	R元	R2	R3
R2 事業計画	・子育て支援課と連携しながら、保育所、幼稚園、こども園に対して、DVに関する情報提供や相談窓口の周知を行う							
R2事業計画に関する具体的な目標	相談窓口の一覧表掲示の有無確認（幼保運営課に協力要請）。男女共同参画モデル園の職員対象にDVに対する情報提供、相談窓口の周知を行う							
R2 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一覧表掲示の有無確認未実施</li> <li>・男女共同参画モデル園において職員ヒアリングを実施（高松市内の保育現場における保育士による性的虐待事件を受けて、現状把握と適切な対応をするためにどのような方策をとるべきか在籍保育士に伺った）→子育て支援課へも情報提供済み</li> </ul>							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	保育現場のひとつではあるが、日ごろから大変な状況であることが再確認できた。また、不適切行動の抑止のため、監視カメラ設置の是非について伺ったが、抵抗感があることが判明し、保育現場での自浄機能強化について考えていただくきっかけになったと考える。外部からの刺激が有効であると考え							
事業の実施状況を踏まえた課題	良好な人間関係は業務遂行において最重要ポイントだと考えるが、保育現場すべてで毎年、このような取り組み（ヒアリング）を行うことは困難であり、モデル園での取り組みになると考える。保育現場職員全体への研修の際に取り上げることも考えられるが効果は個別対応に比べ低いと考える。							

施策の内容	民生委員・児童委員や人権擁護委員に対し、被害者の早期発見などについて、理解と協力を求めます。							
98		数値目標						
担当課	人権課男女共同参画室		現状値	H29	H30	R元	R2	R3
R2 事業計画	DV防止啓発活動について、人権擁護委員や民生委員・児童委員と意見交換をし、必要とされる情報提供に努める							
R2事業計画に関する具体的な目標	人権擁護委員との意見交換会（1回）。民生委員・児童委員との意見交換（1回） ※意見交換会の開催に向け、担当課と要調整							
R2 事業実績	人権擁護委員、民生委員・児童委員との意見交換はコロナ禍の影響により見送り							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	なし							
事業の実施状況を踏まえた課題	被害者の早期発見につなげるため、各委員への情報提供をどのようにするのが効果的なのか、また実践できるのか担当課と十分な話を持っていない（機会をつくるのが必須）							

## 目標6 配偶者などからの暴力の根絶《重点目標》

### 《目指すまちの姿》

市民がいかなる暴力も許さないという意識を持ち、DVやセクシュアル・ハラスメントなど、あらゆる暴力のない社会が形成されています。

施策  
番号

【3】 発見通報に関する関係機関への働きかけの実施

### 【担当課長による施策実施評価とその理由】

担当課長	評価	評価の理由
人権課長	B⇒ B	引き続き関係課と連携を図りながら、保育所・幼稚園の職員に対する情報提供や職員研修により、被害者への早期発見・早期対応の意識付けが高まってきている。

### 【審議会による施策実施評価とコメント】

評価	コメント
	今回、施策実施評価は省略しました 総括講評を参照してください

※担当課長、審議会による評価基準

A：目指すまちの姿に対して施策の効果が十分得られた。

B：目指すまちの姿に対して施策の効果が得られた。

C：目指すまちの姿に対して施策の効果がほとんど得られなかったため、事業の見直しが必要である。

目標6 配偶者などからの暴力の根絶《重点目標》

**《目指すまちの姿》**  
 市民がいかなる暴力も許さないという意識を持ち、DVやセクシュアル・ハラスメントなど、あらゆる暴力のない社会が形成されています。

施策番号	【4】 相談員の資質向上のための研修実施と心理的ケアの充実
------	-------------------------------

施策の内容	被害者の人権に配慮した対応を行うように、相談員の資質向上に努めます。
-------	------------------------------------

99		数値目標						目標値
担当課	子育て支援課		現状値	H29	H30	R元	R2	
R2 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談員の資質向上に向けて、県などが行う相談員の研修会及び事例検討会へ参加する。</li> </ul>							
R2事業計画に関する具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>県や他機関が行う相談員の研修会及び事例検討会へ積極的に参加する。</li> </ul>							
R2 事業実績	県が行う研修へ積極的に参加し、相談員としてのスキルアップに努めた。また困難なケース等は上司の指示を仰ぐなど、課全体で取り組んだ。							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	相談があった場合は2名体制で対応、また相談員間でケースを共有することで、支援の方向性を共有することができた。相談員全員研修会に参加し、関係機関との連携がよりスムーズに行えるようになった。							
事業の実施状況を踏まえた課題	DVのみならず、幅広い内容での女性相談があるため、内容に応じて適切な対応ができるよう引き続き相談員のスキルアップが必要である。							

施策の内容	相談員のメンタルヘルスカケアを行うなど、一人で抱え込むことのない体制をつくります。							
	100	数値目標						
担当課	子育て支援課		現状値	H29	H30	R元	R2	R3
R2事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談員の資質向上に向けて、県などが行う相談員の研修会及び事例検討会へ参加する。</li> </ul>							
R2事業計画に関する具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>県や他機関が行う相談員の研修会及び事例検討会へ積極的に参加する。</li> <li>家庭児童相談室が組織設置されたことにより、室長、SVと相談しやすい体制となった。毎日ミーティングを開催することなどで、負担軽減を図っていく。</li> </ul>							
R2事業実績	毎日、ミーティングを開催し、ケースの課題を室員全員で話し合った。また困難なケース等は上司の指示を仰ぐなど、課全体で取り組んだ。							
目指すまちな姿に対して、事業実施により得られた効果	相談員全員でケースを丁寧に相談し合うことで、相談員の負担軽減となった。							
事業の実施状況を踏まえた課題	相談員が悩みや不安を軽減できる環境づくりが必要である。							

目標6 配偶者などからの暴力の根絶《重点目標》

**《目指すまちの姿》**  
 市民がいかなる暴力も許さないという意識を持ち、DVやセクシュアル・ハラスメントなど、あらゆる暴力のない社会が形成されています。

施策 番号	【4】	相談員の資質向上のための研修実施と心理的ケアの充実
----------	-----	---------------------------

【担当課長による施策実施評価とその理由】

担当課長	評価	評価の理由
子育て支援 課長	B⇒ B	相談員の資質向上のために各種研修に積極的に参加しており、その成果が日頃の相談対応に表れていると思う。また、相談員間の横の連絡についても、毎日ミーティングを行い情報共有し、また、定期的に室内会議を開催するなど適切な体制づくりを行えている。

【審議会による施策実施評価とコメント】

評価	コメント
	今回、施策実施評価は省略しました 総括講評を参照してください

※担当課長、審議会による評価基準

- A：目指すまちの姿に対して施策の効果が十分得られた。
- B：目指すまちの姿に対して施策の効果が得られた。
- C：目指すまちの姿に対して施策の効果がほとんど得られなかったため、事業の見直しが必要である。

目標6 配偶者などからの暴力の根絶 《重点目標》

**《目指すまちの姿》**  
市民がいかなる暴力も許さないという意識を持ち、DVやセクシュアル・ハラスメントなど、あらゆる暴力のない社会が形成されています。

施策番号	【5】 相談室の整備
------	------------

施策の内容	被害者のプライバシーが守られ、落ち着いて相談できる相談室を整備します。
-------	-------------------------------------

101		数値目標						
担当課	子育て支援課		現状値	H29	H30	R元	R2	R3
R2 事業計画	新庁舎構想に落ち着いて相談できる相談室の確保はしたが、移転までの間、別室で家庭児童相談室を設置し窓口対応を行う。							
R2事業計画に関する具体的な目標	予約有りの相談は相談室の確保し、突然の場合は別室に設けた家庭児童相談室の窓口でプライバシーの確保に十分な配慮をしながら対応していく。							
R2 事業実績	相談室の確保が難しい場合は、家庭児童相談室の窓口にて、プライバシーに配慮しながら対応することができた。							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	安心して相談ができるスペースが確保できたことで、被害者に安心感が生まれる。							
事業の実施状況を踏まえた課題	プライバシーに配慮した相談が受けられるよう、継続して相談室の確保に努めることが必要。							

目標6 配偶者などからの暴力の根絶《重点目標》

《目指すまちの姿》

市民がいかなる暴力も許さないという意識を持ち、DVやセクシュアル・ハラスメントなど、あらゆる暴力のない社会が形成されています。

施策 番号	【5】	相談室の整備
----------	-----	--------

【担当課長による施策実施評価とその理由】

担当課長	評価	評価の理由
子育て支援 課長	B⇒ B	相談室の確保が難しい場合は、家庭児童相談室を別室で設けているため、相談者のプライバシーを確保した相談ができています。

【審議会による施策実施評価とコメント】

評価	コメント
	今回、施策実施評価は省略しました 総括講評を参照してください

※担当課長、審議会による評価基準

A：目指すまちの姿に対して施策の効果が十分得られた。

B：目指すまちの姿に対して施策の効果が得られた。

C：目指すまちの姿に対して施策の効果がほとんど得られなかったため、事業の見直しが必要である。

目標6 配偶者などからの暴力の根絶《重点目標》

**《目指すまちの姿》**  
 市民がいかなる暴力も許さないという意識を持ち、DVやセクシュアル・ハラスメントなど、あらゆる暴力のない社会が形成されています。

施策番号	【6】 DV被害者が一時的に避難できる場所の確保
------	--------------------------

施策の内容	緊急に保護を求めてきた被害者が、一時保護が行われるまでの間、一時的に避難できる場所を、香川県子ども女性相談センターや警察と連携しながら確保します。
-------	---

102		数値目標						
担当課	子育て支援課		現状値	H29	H30	R元	R2	R3
R2 事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>被害者の安全確保のため、スムーズに一時保護が行えるよう、県や警察との連携を強化する。</li> </ul>							
R2事業計画に関する具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>被害者の安全確保を第一に考え、スムーズに一時保護が行えるよう、県や警察との連携を図る。</li> </ul>							
R2 事業実績	県や警察と連携を取りながら、スムーズに被害者を保護することができた。							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	スムーズに保護できたため、被害が最小限で収まった。							
事業の実施状況を踏まえた課題	緊急的なものは県のシェルターで保護しているが、すぐにシェルターへ入所できない場合、一時的に避難できる場所を何らかの形で確保していくことが今後の課題である。							

## 目標6 配偶者などからの暴力の根絶《重点目標》

### 《目指すまちの姿》

市民がいかなる暴力も許さないという意識を持ち、DVやセクシュアル・ハラスメントなど、あらゆる暴力のない社会が形成されています。

施策  
番号

【6】 DV被害者が一時的に避難できる場所の確保

### 【担当課長による施策実施評価とその理由】

担当課長	評価	評価の理由
子育て支援課長	B⇒ B	県の子ども女性相談センターや児童相談所、警察などと適切な連携を図っており、今後もこの方向で進めていきたい。(再掲)

### 【審議会による施策実施評価とコメント】

評価	コメント
	今回、施策実施評価は省略しました 総括講評を参照してください

※担当課長、審議会による評価基準

A：目指すまちの姿に対して施策の効果が十分得られた。

B：目指すまちの姿に対して施策の効果が得られた。

C：目指すまちの姿に対して施策の効果がほとんど得られなかったため、事業の見直しが必要である。

目標6 配偶者などからの暴力の根絶《重点目標》

**《目指すまちの姿》**  
 市民がいかなる暴力も許さないという意識を持ち、DVやセクシュアル・ハラスメントなど、あらゆる暴力のない社会が形成されています。

施策番号	【7】 DV被害者と同伴の子どもへの適切な情報提供と切れ目のない支援の実施
------	---------------------------------------

施策の内容	被害者の立場を十分考慮したうえで、自立した生活に向けた支援を行います。
-------	-------------------------------------

103		数値目標	現状値	H29	H30	R元	R2	R3	目標値
担当課	人権課男女共同参画室		/	/	/	/	/	/	/
R2 事業計画	・「家庭・学校等における暴力及びいじめ等対策連絡会」、「DV対策ネットワーク会議」において、暴力の実態や対応に関して庁内関係各課や関係機関と情報共有を行い、共通認識を持てるようにする。								
R2事業計画に関する具体的な目標	「家庭・学校等における暴力及びいじめ等対策連絡会」（1回参加）と「DV対策ネットワーク会議」（1回開催）において、情報共有を行う。「DV対策ネットワーク会議」では前年度実現しなかった、医師による講演を実施する。								
R2 事業実績	コロナ禍の影響により「家庭・学校等における暴力及びいじめ等対策連絡会」は書面開催の対応とした。DV対策ネットワーク会議は実施見送りとなった								
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	コロナ禍という状況下でも書面開催をすることで情報共有を図ることが少なからずできた（意見交換のために事前調査も実施し、意見集約に努めた）								
事業の実施状況を踏まえた課題	コロナ禍だからこそ、潜在化する暴力に対しどう対応するのが良いか議論する必要があるがその機会が取れていない								

104		数値目標						
担当課	子育て支援課		現状値	H29	H30	R元	R2	R3
R2事業計画	・自立のために最低限必要な住居と生活資金を確保するため、各関係機関の情報を収集し、連携を強化していく。							
R2事業計画に関する具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DV被害者の自立に向けた支援について、県と十分な連携を図り、住宅課、社会福祉協議会、福祉課及び学校教育課の協力を得ながら対応していく。</li> <li>・一時保護から自立するまでの半年から1年の間、県営住宅で一時的に住居を無償提供してもらえるよう働きかけていく。</li> </ul>							
R2事業実績	DV被害者の自立に向け、県と連携を図りながら、住宅課、福祉課、幼保運営課、学校教育課等の協力を得て被害者の自立を支援した。							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	連携により、スムーズに保護することはできていた。							
事業の実施状況を踏まえた課題	香川県内で市営住宅のDV被害者枠を提供している市が丸亀市1か所のみなので、県営住宅において、DV被害者枠の増枠を要望していくことが必要である。							

105		数値目標						
担当課	人権課男女共同参画室		現状値	H29	H30	R元	R2	R3
施策の内容	男性被害者への支援の方法を検討します。							
R2事業計画	まずは相談窓口の周知。							
R2事業計画に関する具体的な目標	男性トイレの鏡面に相談窓口を記載したシールを貼付（市内公共施設に10か所増。民間施設に38か所増）							
R2事業実績	男性トイレ（公共施設4か所、民間施設28か所）に相談窓口を記載したシールを貼付（シールには「男性も相談できます」と表示）							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	男性トイレだけでなく「だれでもトイレ」の鏡面に貼付することもしており、相談窓口周知シールの総数が増えており、目にする機会が増大している							
事業の実施状況を踏まえた課題	目標6【2】96再掲 相談窓口周知機会は増大したが、ここから相談につながるかどうかは未知数（周知方法の検証が必要）							

106		数 値 目 標						
担当課	子育て支援課		現状値	H29	H30	R元	R2	R3
R2 事業計画	・男性への支援ができる情報を収集する。							
R2事業計画 に関する具 体的な目標	・県への協力を仰ぎながら、市で対応可能なものを検討していく。							
R2 事業実績	県の子ども女性相談センターを紹介する。							
目指すまち の姿に対 して、事業 実施により得 られた効果	相談先を紹介することで、ひとまずの安心を与えることができた。 令和2年度実績：5件							
事業の実施 状況を踏ま えた課題	男性の相談に対する支援について女性相談員だけでなく男性相談員が対応するよう配慮したり、男性の一時的避難場所の確保や自立支援にむけた体制づくりが今後の課題である。							

## 目標6 配偶者などからの暴力の根絶《重点目標》

### 《目指すまちの姿》

市民がいかなる暴力も許さないという意識を持ち、DVやセクシュアル・ハラスメントなど、あらゆる暴力のない社会が形成されています。

施策 番号	【7】 DV被害者と同伴の子どもへの適切な情報提供と切れ目のない支援の実施
----------	---------------------------------------

### 【担当課長による施策実施評価とその理由】

担当課長	評価	評価の理由
人権課長	B⇒ B	「家庭・学校等における暴力及びいじめ等対策連絡会」、「DV対策ネットワーク会議」において暴力の実態や対応に関して、庁内関係各課や関係機関と情報共有を行い、共通認識を持ち連携ができています。
子育て支援課長	B⇒ B	DV被害者への自立支援については、県や庁内の関係各課と十分な連携をとりながら実施できている。

### 【審議会による施策実施評価とコメント】

評価	コメント
	今回、施策実施評価は省略しました 総括講評を参照してください

※担当課長、審議会による評価基準

A：目指すまちの姿に対して施策の効果が十分得られた。

B：目指すまちの姿に対して施策の効果が得られた。

C：目指すまちの姿に対して施策の効果がほとんど得られなかったため、事業の見直しが必要である。